

## 産業建設委員会

### 橋梁長寿命化修繕調査 設計業務委託料

割合で負担金を決定する。今回の増加分は、本市が負担するもので、松前町には影響はない。

③ 昨年度より、地域に対して、説明・協議を行っており、受け入れに対して理解を得られている。

#### 問

今後、こういった視点で橋梁の長寿命化を図っていくのか。

#### 答 (道路河川課)

平成23年度に市内295橋の調査を実施した。その結果、修繕を要するものが37橋見つかかり、修繕に係る優先順位を決定した。

今後は、5年ごとに再調査を実施し、重要度の判定と優先順位の見直しを行った上で計画的に長寿命化を図っていく。

### 県営ため池等整備事業 県負担金

#### 問

地元負担率が7%となっている条例を見直す考えはないか。

## 新しい名物料理の研究

#### 問

① 海鮮しょうゆ焼きそばを開発予定だが、今後の事業展開の計画は。

② 商品開発を行うこと自体は良いが、最終目標を決定した上で事業に取り組むべきでは。

#### 答 (商工観光課)

① 年内を目的に商品開発を行い、年度末頃までに販売できればと考えている。

基本的にシーサイド公園を中心とした事業展開を考えており、まず試験的な販売を行う。

その後、他の飲食店にもレシピを提供し、その店のオリジナリティを加味し、レパートリーを増やしたい。

今後の協議の中で、食材等の変更の可能性はあるが、市内にある食材を使用するということだけは変わらない。



修繕が必要な橋梁 (双海地区高野川橋)

#### 答 (農林水産課)

地元負担率について周知自治体を調査した結果、中予地区において、本市は少し高めであるが、南予地区においては、本市より、かなり高いところもある。

農業用水路や農地など、他の事業の負担金の関係もあり、一律に7%の負担率が高い低いということとは言えないが、国の負担率が50%から55%に上昇してきていることから、今後早急に検討していかなければならない事項である。

また、市が発行している食の雑誌P@CKTT O!(ぱくつと)、ホームページなどで情報発信を行おうと考えている。

② この事業は、商工会が新たに立ち上げた事業であり、停滞する企業を何とか盛り上げる姿勢が出てきたことに強く期待して、この事業を進めていきたい。

今回は、双海のしょうゆ会社と中山の製麺業者が伊予農業高校の協力も得ながら事業を進めていく。

#### ■訂正

議会だより第33号(平成25年8月1日発行)の6ページ、産業建設委員会の木造新築住宅建築支援事業費補助金の担当課を「農業振興課」と表示しておりましたが、正しくは「農林水産課」の誤りでした。訂正し深くお詫び申し上げます。

### 寄付金による 学校備品の購入

#### 問

寄付金で購入する備品は、どのような方法で選定したのか。

#### 答 (学校教育課)

市内小学校9校に対し、各校100万円を目的に、AED代30万円を除く70万円を希望調査を行った。

単価の低いものや管理用備品を除いたOA機器・楽器・体育備品等を購入する予定である。

また、市内中学校4校に対しても同様の扱いで購入する予定である。